

「親の学習」を始める前に

参加者はお互いの考えや感じ方を尊重しましょう

- 相手の意見に耳を傾けましょう。その人の立場に立って物事を考えましょう。
- 一人で話をし過ぎないようにしましょう。
- 発言は強制ではありません。人の話を聞いているだけでも参加していることになります。
- 参加している方の生活環境や考え方も様々です。様々な方が参加しているということを十分意識しましょう。

- ◎身体や心に障害のあるお子さんのお父さん、お母さんが出席していることを考えて参加しましょう。
- ◎お父さん、お母さんが出席できずに、おじいちゃんやおばあちゃん、親戚の方が出席していることを考えて参加しましょう。
- ◎DV（ドメスティック・バイオレンス）の被害者など人権上配慮すべき家庭の方が出席していることを考えて参加しましょう。

- 障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うという特別支援教育の視点を大切にすることで、参加者一人一人を大切に「親の学習」を進めることができます。

積極的に参加しましょう。

- 参加者全員で作っていくプログラムです。積極的に参加するよう心がけましょう。

プログラムで知った参加者の個人情報を持ち帰らないようにしましょう。

- グループでの話し合いなど、お互い安心した雰囲気の中で本音に近い話をします。そこで知った参加者個人の情報はその場に置いていくのがマナーです。他の人に話したりしないようにしましょう。